

2016年2月17日

お客様各位

株式会社ベッコアメ・インターネット

【注意喚起】Linux GNU C ライブラリの脆弱性について

平素より弊社サービスをご利用頂き誠にありがとうございます。

この度、Linux 系 OS で広く利用されている glibc ライブラリにバッファオーバーフローの脆弱性が発見されました。本脆弱性を使用された場合、遠隔の第三者によって、任意のコードを実行されたりサービス運用妨害 (DoS) 攻撃が行われたりするなどの可能性があります。

JPCERT コーディネーションセンターより脆弱性関連情報が発表されています。
ご確認の程、お願いいたします。

なお、設定変更などにより生じた結果については、弊社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

記

■対象 : 以下のバージョンが脆弱性の影響を受けます。

glibc 2.9 およびそれ以降のバージョン

ディストリビュータが提供している glibc ライブラリについても本脆弱性の影響を受ける場合があります。本件に関連して、ディストリビュータから影響を受ける製品とバージョンの情報が公開されています。詳細は、使用中のディストリビュータなどからの情報を参照してください。

■対策方法 : 対策方法に関しましては、JPCERT コーディネーションセンターより 参照ください。

<https://www.jpCERT.or.jp/>

■本件に関するお問い合わせ

メールアドレス : tech@bekknet.ad.jp